

元気なときから「人生会議」

問 健康長寿課 (☎65・7333)

最期まで自分らしく生きるために、今、話し合おう



もしものときのために、自分が望む医療やケアについて前もって考え、話し合い、共有する取り組みを「人生会議」と呼びます。周囲の人たちと人生の最終段階の医療やケアについて話し合ってみませんか。

■なぜ人生会議が大切なの？

命の危機が迫った状況になると約7割の人が物事を判断する力を失うといわれています。認知症や障がいなどで意思決定能力が低下するケースもあります。

こうした事態に備え、どのような医療や介護を受けて最期を迎えたいかを前もって家族や医療従事者などと話し合い、共有しておくことで、もしものときにあなたの意思を反映させやすくなります。また、あなたの代わりに治療方針などを判断する人の精神的な負担を軽くすることにもつながります。

■人生会議の進め方

1 大切にしたいことを考える

例えば・・・

- ・こんな医療や介護を受けたい
- ・家族には負担をかけたくない
- ・仕事や社会的な役割を続けたい
- ・最期まで家で過ごしたい など



2 大切な人たちと話し合う



あなたが信頼できる人(家族や医療従事者など)と、いざというときに希望する医療やケア、生活支援について話し合います。

3 話し合った結果を書き留めておく



話し合ったことは記録しておきましょう。希望や思いは、時間とともに変化することがあります。その都度、繰り返し考え、話し合い、記録しましょう。

■エンディングノート「つぐみ」で人生会議を始めよう

エンディングノートとは、人生の終末について記したノートです。家族や友人に伝えておきたいことや自分の希望などを書き留めておけます。福井県版エンディングノート「つぐみ」は健康長寿課(結とびあ1階②番窓口)で無料配布しています。「つぐみ」で、あなたも人生会議を始めませんか。



人生会議に関する市民公開講座を開催しました

「人生会議」を広めるため、8月3日に市医師会と協力し、「住み慣れた場所で安心して暮らし続けるには」をテーマに市民公開講座を開きました。講座の概要はホームページに公開していますので、ぜひ見てください。



詳しくはこちら

ナイトセミナー「燃やせ体脂肪★減らせ血中脂肪」

コレステロールや中性脂肪が気になっている人におすすめの講座です。脂肪燃焼に効果的な運動や食生活を見直すヒントを伝授します。

日時 ①運動編 11月28日(困)午後7時～8時
②食事編 12月12日(困)午後7時～8時

場所 結とびあ

講師 ①運動編 漆崎由美さん(健康運動指導士) ②食事編 加藤みえ子さん(管理栄養士)

対象 30歳以上の市民で次のいずれかに該当する人

- ・健康診断などでコレステロールや中性脂肪の値が高めと言われている
- ・BMIが25以上(BMI=体重(キ)÷身長(メートル)÷身長(メートル)で計算します)

定員 各回25人(先着)

※両方参加も可

参加料 無料

持ち物 タオルと飲み物

※運動編に参加する人のみ

申込方法 電話か専用フォームから申し込む

申込締切 11月15日(金)



申し込みはこちら

その他 おおのヘルスウォーキングプログラム参加者には50ポイント進呈します

問 健康長寿課 (☎65・7333)

11月9日～15日は秋季火災予防運動週間

守りたい 未来があるから 火の用心

近年の大規模地震では、電気が原因の火災が多発しています。地震による火災に備え、適切な対策を講じましょう。また、これからの季節は暖房器具の使用機会が増え、火災のリスクが高まります。今一度、身の回りの防火対策を見直し、火災予防に努めましょう。

☎ 消防署予防課 (☎64・4899)



地震火災を防ぐ3つのポイント

- ・家具などの転倒防止対策(固定)を行う
- ・地震の大きな揺れで電気を遮断する「感震ブレーカー」を設置する
- ・地震直後、停電中は電気器具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。避難するときはブレーカーを落とす



住宅火災 命を守る10のポイント

■4つの習慣

- ・寝たばこは絶対にしない、させない
- ・ストーブの周りに燃えやすいものを置かない
- ・こんろを使うときは火のそばを離れない
- ・コンセントはほこりを掃除し、不要なプラグは抜く

■6つの対策

- ・安全装置の付いたストーブやこんろを使う
- ・住宅用火災警報器は定期的に点検し、10年を目安に交換する
- ・寝具や衣類、カーテンなどは防災品を使う
- ・消火器を設置し、使い方を確認しておく
- ・高齢者や体の不自由な人は、避難経路を常に確保しておく
- ・防火防災訓練などに参加し、地域ぐるみで防火意識を高める

大野市防火ポスターコンクール 入賞者発表

市消防本部では、市民の防火意識向上のため「守りたい 未来があるから 火の用心」をテーマに市内の小中学生から防火ポスターを募集し、480点の応募がありました。

審査の結果、最優秀賞7点、優秀賞14点、秀作50点が選ばれました。最優秀賞と優秀賞の受賞者は次のとおりです(敬称略)。

最優秀賞

高宮叶凧(有終西小1年)

村中美乃里(上庄小2年)

松田耀平(富田小3年)

酒井稜平(有終東小4年)

村中真智乃(上庄小5年)

谷脇功峨(有終南小6年)

齊藤楓羽(陽明中1年)

優秀賞

安川晴捺(有終西小1年)

小林佳悟(上庄小1年)

大谷季久乃(有終西小2年)

前田楓生(有終東小2年)

前田夏歩(有終東小3年)

三嶋ひな(下庄小3年)

村上絢子(有終東小4年)

川島寛大(下庄小4年)

伊藤ひまり(下庄小5年)

内田倅愛(有終南小5年)

前田來那(有終西小6年)

中川勇翔(上庄小6年)

中山愛梨(陽明中1年)

柳原夕愛(陽明中2年)

市内展示

最優秀賞と優秀賞の作品を市内で順次展示します。

・ショッピングモールド・i o(11月1日(金)まで)

・結とぴあ(11月2日(土)～4日(日)振替休日)

※市文化祭で展示

・あつ宝んど(11月8日(金)～15日(金))

☎ 消防署予防課

(☎64・4899)



公共交通に乗って新しくなった福井駅と
北陸新幹線を見に行こう



公共交通に乗って新しくなった福井駅にみんなで遊びに行きませんか。新しい店がたくさんあり、1日満喫できること間違いなしです。

開催日 11月23日(田勤労感謝の日)

行き先 福井駅

行程 午前11時15分 越前大野駅

集合▼11時39分 越前大野駅発

▼午後0時33分 福井駅着▼午後0時40分 自由行動▼午後3時35分 京福バス福井駅発▼午後4時32分 越前大野駅着、解散

※新幹線改札の入場券を配付します。各自自由行動の間に新幹線を観覧してください

定員 20人(抽選)



参加料 無料。ただし福井駅までの往復運賃が必要(大人1800円、子ども900円、幼児無料)

申込方法 専用フォームから申し込み

申込期間 11月1日(金)午前9時～11日(月)午後5時

特典 ・越美北線オリジナルカード1枚

・北陸新幹線開業記念グッズ(コップンバッグ)1枚

・北陸新幹線改札口入場券

・越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会(交通住宅まちづくり課内)64・4815)



▲北陸新幹線開業記念コットンバッグ



▲申し込みはこちら

500円分の買い物券を進呈！
越美北線や京福バスに乗って
新そばまつりに行こう

新そばまつり会場で使える500円分の買い物券を進呈します。

ぜひこの機会に公共交通を利用して新そばまつりに来てください。

配布日 11月16日(土)、17日(日)

配布場所 越美北線・越前大野駅

京福バス・大野六間停留所

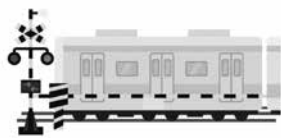
対象 ・越美北線を利用し、越前大野駅で降車した人

・京福バス大野線、京福バス勝山大野線を利用し、大野六間停留所で降車した人

※対象となる時間など、詳しくはホームページで確認してください

配布枚数 100枚(先着)

・越美北線と乗合バスに乗る運動を進める会(交通住宅まちづくり課内)64・4815)



▲詳しくはこちら

第17回
越前おおの食守フェスタ

新そばまつりに合わせて、食育や地産地消などについて学ぶ「食守フェスタ」を開催します。食を通じて健康づくりに考えてみませんか。

日時 11月16日(土)午前9時～正午

場所 結とびあ

内容 地産産食材を使用した料理の試食、食育パネルの展示、クイズラリーなど

その他 ・食育パネルは11月18日(日)正午まで展示します

・新そばまつりは11月16日(土)午前10時～午後4時、17日(日)午前10時～午後3時に市役所駐車場で開催します。詳しくは全戸配布のチラシを確認してください

・越前おおの食守フェスタ実行委員会(農業林業振興課内)64・4818)





大野男女共同参画ネットワーク講座(第2回大野市共家事講座)

共家事を叶える！家族の快適な暮らしのためのお片づけ講座



家事は全て、片付けにつながっています。家族の暮らしも心もすっきりする片付けを一緒に学びませんか。整理と収納の基本を学びながら、家庭ですぐに実践できる演習を交えて、家事シェアにつながるポイントを解説します。

日時 11月8日(金)午後7時～8時30分(午後6時30分

受け付け開始)

場所 学びの里「めいりん」

講師 整理収納アドバイザー さとみ 村田理美さん

定員 50人(先着)

参加料 無料

申込方法 電話で申し込む

申込締切 11月7日(金)

その他 未就学児には保育ルームを用意します。利用を希望する人は11月5日(木)までに申し込んでください

☎ 生涯学習・文化財保護課 (☎ 65・5590)



村田理美さん



☎ 大野公民館 (☎ 66・20020)

その他 おおのヘルスウオーキングプログラム参加者には50ポイント進呈します

申込期間 11月1日(金)～15日(金)

申込方法 電話から申し込む専用フォームから申し込む



▲申し込みはこちら

持ち物 生涯学習カード(スタンプカード)、飲み物

参加料 無料

定員 20人(先着)

対象 市民

講師 市学芸員

場所 学びの里「めいりん」

日時 11月23日(土)午前8時45分～11時(午前8時30分受け付け開始)

大野地区にある寺町(8カ所のお寺)を、学芸員の解説付きで巡ります。

公民館リレー講座「大野地区の歴史探訪 寺町あるき」



申込期間 11月18日(日)～29日(金)

申込方法 電話か阪谷公民館窓口で申し込む

持ち物 エプロン、タオル

参加料 無料

定員 8人(先着)

対象 市民

講師 市食生活改善推進員

場所 阪谷公民館

日時 12月8日(日)午後1時30分～3時

阪谷地区で収穫されたサトイモを使った郷土料理の作り方を紹介します。

公民館リレー講座「郷土料理講座 冬のごちそう」



イベント・催し



認知症や介護のこと、お茶を楽しみながらゆっくり話しませんか？

介護や認知症のことだけでなく、不安なことや気掛かりなことなど何でも相談できるよろず相談を実施します。専門職のスタッフがいますので、気軽にお立ち寄りください。

健康長寿課 (☎65・5046)

◆結のカフェ

日時 11月10日(日)午前9時30分～正午

場所 大野きらめき(天神町3-21)

内容 パソコン演奏を体験してみましよう

講師 山内廣志さん

定員 20人(先着)

参加料 1000円

持ち物 筆記用具

申込締切 11月8日(金)

健康長寿課 (☎66・1211)

◆心むずびカフェ

日時 11月14日(日)午後0時30分～3時

場所 ショッピングモールVio

内容 人生会議をしましょう～エンディングノートを書いてみよう～

講師 市在宅医療コーディネーター

健康長寿課 (☎65・5046)

◆オレンジカフェ

日時 11月15日(日)午後1時～3時

場所 横町スタジオ(日吉町1-7)

※送迎可、☎69・1108に連絡してください

内容 出張カフェ(☎)書で脳トレーニング

定員 10人(先着)

参加料 1000円

和が家 (☎69・1108)

◆やわらぎカフェ

日時 11月24日(日)午後1時30分～3時45分

場所 大野和光園

内容 クリスマスリース作り

講師 林敬子さん

定員 10人(先着)

参加料 1000円

申込締切 11月12日(日)

大野和光園 (☎66・6660)

母子寡婦福祉連合会主催

「みんなでカレーの日」

日時 11月17日(日)午前11時～午後1時30分

場所 学びの里「めいりん」

内容 大野産のおいしい米と野菜で作るカレーライスの提供、寄付で集

まった物品の配布、ガラガラ抽選を行います(ガラガラ抽選は子どものみ)

対象 市内在住のひとり親家庭の子ど

もと保護者(小学校高学年以上は保護

者同伴なしでも可)

数量 100食(無くなり次第終了)

母子寡婦福祉連合会

(☎090・9766・0372)

「市制施行70周年記念事業」

トレモロ第21回「コンサート」

「越前おおのめいりんオペラ塾」

日時 11月24日(日)午後2時開演(午後1時30分開場)

場所 学びの里「めいりん」

内容 ・第一部 アリア、歌曲など

・第二部 オペラ「魔笛」

入場料 1000円(高校生以下無料)

トレモロ 協本さん

(☎090・2834・2691)

教室・講座



水の循環講座「スイスイ課外授業」

「水」をテーマにさまざまな切り口で学び楽しむ「スイスイ課外授業」を開催します。

日時 11月16日(日)午後2時～3時

場所 越前おおの水のがっこう

テーマ 水中のDNAを用いた新しい

生物調査

講師 ・香川大学大学院農学研究所 石

井良典さん

・香川大学農学部 教授 山田佳裕さん

対象 高校生以上

定員 10人(先着)

受講料 無料

申込方法 電話か電子



▲申し込みはこちら

申込締切 11月14日(日)午後5時

環境・水循環課 (☎64・4828)

電子メール kankyo@city.fukui-ono.lg.jp

身体の中から美しくなる ピラティス体験教室

ピラティスは子どもから高齢者まで幅広い年代で行えるエクササイズです。ピラティスの基礎を学び、体幹の強化、姿勢の改善を目指します。

日時 11月20日(日)午後7時～8時

場所 エキサイト広場

講師 森下巧人さん

対象 高校生以上

定員 20人(先着)

参加料 500円(保険料含む)

持ち物 ヨガマット(貸出可)、飲み物、

タオル

服装 動きやすい服装

申込方法 電話か専用

フォーム、窓口

で申し込み

申込締切 11月12日

10月15日

その他 おおのヘルスウオーキングクラブ

ラム参加者には50ポイント進呈します

スポーツ推進課 (☎65・5592)



▲申し込みはこちら

「認知症サポーター」になりませんか？

認知症は誰もがなり得る脳の病気です。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、認知症の人や家族を温かく見守る応援者「認知症サ

ポーター」になりませんか。

◆認知症サポーター養成講座

認知症について正しい知識で理解するため、認知症の基礎知識や認知症の人との接し方などを学びます。

日時 11月23日(土) 午前10時～午後1時30分(3時)

対象 市民

申込締切 11月20日(木)

◆ステップアップ講座

認知症についてより深く学び、日常生活の中での実践につなげるための講座です。

日時 12月14日(土) 午後1時30分～3時

対象 今までに認知症サポーター養成講座を受講したことがある人

申込締切 12月11日(水)

◆共通事項

場所 結とぴあ

講師 キャラバン・メイト(県の認知症研修を修了した講座講師)

定員 各回20人(先着)

申込方法 電話で申し込む

その他 おおのヘルスウォーキングプログラム参加者には50ポイント進呈します

健康長寿課 (65・5046)

大野市民学校第4講「高齢期の心理的健康について考える」

大野市民学校第4講「高齢期の心理的健康について考える」

加齢に伴い身体的にも精神的にも変化が表れます。いつまでも健康でいられるよう高齢期の心の健康について学びましょう。

日時 11月28日(木) 午後2時～3時30分

場所 学びの里「めいりん」

講師 仁愛大学 教授 竹村明子さん

定員 30人(先着)

受講料 無料

申込方法 電話か専用フォームから申し込む

申し込み 11月26日(火)

その他 おおのヘルスウォーキングプログラム参加者には50ポイント進呈します

生涯学習・文化財保護課 (65・5590)



▲申し込みはこちら

お知らせ

ごみの休日・第4日曜日受け入れ

日時 11月4日(日) 振替休日、24日(日) 午前8時30分～正午、午後1時～4時30分

※ごみの分別と減量、ごみステーションの利用にご協力ください

場所 ビュークリーンおくれつ

大野・勝山地区広域行政事務組合 (66・6690)

学びの里「めいりん」施設利用日程調整会議

学びの里「めいりん」を有効に利用できるように、施設利用日程調整会議を行います。令和7年4月から9月まで

の期間に、大会やイベントなどで施設の利用を予定している団体や個人は出席してください。

日時 11月15日(金) 午後7時～

場所 学びの里「めいりん」

生涯学習・文化財保護課 (65・5590)

大野・勝山地区縁結び結婚相談会

日時 11月17日(日) 午前9時～正午

場所 結とぴあ

内容 県の研修を受けた縁結び相談員の「地域の縁結びさん」(ボランティア)が個別にアドバイスや相手紹介などの相談に応じます

対象 結婚を考える20歳以上の独身女性とその親(大野市、勝山市在住者限定)

参加料 無料

申込方法 電話で申し込む

申込締切 11月15日(金)

場所 県「地域の縁結びグループ結いザウルス・縁結びの会」玉木さん (090・82669・8529)

年末調整事務に関する説明会

給与支払者向け年末調整(定額減税関係)事務に関する説明会を次のとおり開催します。

日時 11月20日(木) 午後1時30分～4時

場所 大野税務署

定員 各日15人(先着)

申込方法 電話か窓口で申し込む

大野税務署調査部門 (66・2134)

多重債務者無料法律相談

専門家に相談することで、思いもよらない解決方法が見つかることがあります。1人で悩まず、まずは相談してみませんか。

日時 11月28日(木) 午後6時～8時

場所 市役所

相談員 県弁護士会、県司法書士会会員

申込方法 電話で申し込む

その他 電話での相談はできません

市消費生活センター (64・4831)

コミュニティ助成事業で備品を整備しました

コミュニティ助成事業は、(一財)自治総合センターが宝くじの収益金を活用し、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上を図るための助成事業です。

この助成を受け、東中區が活動備品としてエアコンを整備しました。これにより、地域コミュニティ活動のさらなる活性化が図られます。

地域文化課 (64・4834)





魅力発掘 大野・勝山 スタンプリー

大野市と勝山市の主要な観光施設や商業施設(全50カ所)を周遊するデジタルスタンプリーを開催しています。抽選でスタンプリー取得数に応じた地元名産品などが当たります。

開催期間 12月15日回まで

参加方法 対象施設を訪問し、スマートフォンアプリ「furari」でスタンプを獲得する。詳しくは奥越前観光連盟特設サイトを確認してください。

☎ 奥越前観光連盟
(66・66990)



▲詳しくはこちら

20歳のつどいを開催します

20歳の節目に、今後の自分自身の生き方や本市の将来を考えるきっかけとする「20歳のつどい」を開催します。

日時 令和7年1月12日(日)午後1時～4時30分

場所 結とびあ

対象者 平成16年4月2日～平成17年

4月1日に生まれた人

その他 市外に住民登録があり、本市の20歳のつどいに参加を希望する人は、事前に申し込みが必要です。詳細は11月下旬に対象者へ案内を郵送します

☎ 生涯学習・文化財保護課

(65・55900)

福井県の最低賃金が改正されました

改正後の最低賃金 時間額984円

※令和6年10月5日から適用

※通勤手当、家族手当、精皆勤手当、時間外手当などは含まれません

☎ 福井労働局労働基準部賃金室
(0776・22・2691)

募集



大野市水循環推進協議会委員募集

「大野市水循環基本計画」を推進するため、実施すべき取り組みの協議や検討を行う委員を募集します。

募集人数 3人程度

対象 市内在住で、本市の水に関心がある個人または団体の代表者

任期 委嘱の日から令和9年3月31日まで

会議日程 年に2回程度、原則として平日の昼間に開催予定

申込方法 ホームページから応募申込書ダウンロードし、必要事項を記入の上、環境・水

循環課(市役所1階

⑩番窓口)に持参か

郵送、電子メール、

ファクスのいずれ

かで提出する

申込締切 11月22日(金)午後5時



▲申込書はこちら

☎ 環境・水循環課 (64・4828)

FAX 66・1118)

T 91218666(住所は書かなく

ても届く)

電子メール kankyo@city.fukui-

ono.lg.jp

自衛官候補生・陸上自衛隊高等工 科学校生徒募集

防衛省では、令和7年春採用の自衛官候補生と、令和7年春入校の陸上自衛隊高等工科学校生徒を募集しています。

◆自衛官候補生募集

対象 18歳以上33歳未満の男女

受付期間 随時

採用試験日 ウェブ試験 12月7日(日)～

8日(月) 口述・身体検査 12月15日(日)

◆陸上自衛隊高等工科学校生徒募集

対象 17歳未満かつ中学校卒業(見込み

含む)の男子

受付期間 令和7年1月16日(日)まで

一次試験日 令和7年1月25日(日)

☎ 自衛隊大野地域事務所

(65・6325)

大野結クラブ会員募集

大野結クラブは、福井生まれのスポーツ・「ステイックリング」の愛好団体です。誰でもすぐにできるスポーツです。健康づくりのためにチャレンジしませんか。

日時 毎週(月)・(金)午前8時30分～11時

30分

場所 結とびあ

持ち物 内履き

☎ 大野結クラブ

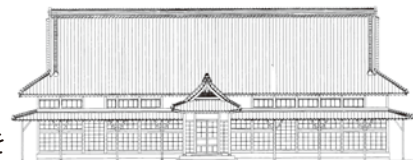
道関さん (65・4848)

廣瀬さん (64・1849)

広告

広告

関西文化の日に文化施設に行こう！



期間中は対象施設の入館料が無料です。この機会に市内文化施設を巡ってみませんか。

期間 11月16日(土)、17日(日)

対象施設 歴史博物館、民俗資料館、COCONO
Oアートプレイス、本願清水イトヨの里

期間中の特別展など ・歴史博物館特別展「金森長近公のあゆみ」
・民俗資料館企画展「手紙のある暮らし」(特製ポストカードプレゼント)

- ・COCONOアートプレイス企画展「小島尚 木工展 素材と対峙する・わたし」
 - ・本願清水イトヨの里「ぎょぎょ！天然記念物のおさかな展」
- ☎ 生涯学習・文化財保護課 (☎65・5590)
COCONOアートプレイス (☎64・4848)
本願清水イトヨの里 (☎65・5104)

第1回インドア雪合戦大会 参加チーム募集

屋内で子どもも大人も楽しめるインドア雪合戦大会を開催します。
友だちや家族でぜひ参加してください。

日時 12月8日(日)午前9時30分～正午終了予定
(午前8時30分受け付け開始)

場所 学びの里「めいりん」

対象 小学3年生以上の市民で構成するチーム
(1チーム5～7人)

定員 12チーム(先着)

参加料 1人300円(保険料含む)※当日持参

持ち物 内履き、タオル

申込方法 専用フォームから
申し込む

申込締切 11月30日(日)

その他 上位チームに賞品、参加者
全員に参加賞を進呈します

☎ スポーツ推進課 (☎65・5592)



▲申し込みはこちら

市営住宅などの入居者募集中

募集物件		募集戸数	選定方法	受付期間	問い合わせ先
高齢者向け賃貸住宅 ※60歳以上	コーポ花山(牛ヶ原)	20戸(1DK) 3戸(2DK)	先着	随時	光明寺福祉会 (☎65・7132)
	コーポめいりん(明倫町)	2戸(1DK)			
特定優良賃貸住宅	東二番町家住宅(元町)	4戸(2LDK)	先着	随時	交通住宅まちづくり課 (☎64・4815)
	西二番町家住宅(明倫町)	2戸(2LDK)			

※家賃は収入に応じて変動します

※それぞれ入居条件があります。詳しくは問い合わせてください

広告

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円)
2枠2万円)

問い合わせ先

秘書広報室

(☎64・4825)



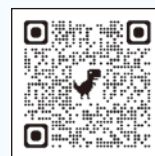
おおの子育てつうしん

ちっく・たっくの行事予定

ちっく・たっくは親子で参加できる子育て交流ひろばです。ショッピングモールVioで、定休日を除く毎日開いています。(午前10～午後6)

【定休日】6日☎・20日☎…Vio定休日

☎ 66・3775



詳しくはこちら
(ちっく・たっくホームページ)

♪講座～歯の話「子どもの虫歯対策」※要予約・限定8組

日時：2日☎午前10：30～11：30

講師：こん歯えるじゅさん



♪子育て塾～マイスターによる身体測定と育児相談※要予約。母子手帳をご持参ください

日時：19日☎午前10～11：30

講師：福井高等学校 衛生看護科教員 藤井千代美さん

※今月のお話「インフルエンザ最新線」

♪講座～Xmasフラワーアレンジメント※要予約・限定6組

日時：30日☎午前10：30～11：30

講師：三姉妹のお花屋さん hiromi

持ち物：はさみ

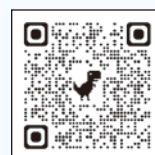
参加料：3000円(材料費)

子育て支援センターの行事予定

子育て支援センターは、子育てをしているおうちの人のなら、どなたでも利用できます。平日のほか毎月2回土曜日の午前中開いています。(第1・第3土曜日)
※変更になる場合あり

☎ 地域子育て支援センター(結とぴあ内)

☎ 65・7188 Eメール kosodate@city.fukui-ono.lg.jp



▲詳しくはこちら

☆遊びの広場(たんぽぽ広場)
対象：乳幼児とその保護者

日時：毎週月～金午前9～正午(ランチルームは午後0：30まで使用できます。昼食やおやつを持参してお越しください) 午後1：30～4

2日☎・16日☎午前9～正午(ランチルームは午前11：30まで使用できます)

場所：子育て支援センター(結とぴあ内)

《主な行事》

【リサイクル市】6日☎午前9～正午、午後1：30～4

【5カ月児ちゃん集まれ】13日☎午前9：15～10：10

【2カ月児ちゃん集まれ】14日☎午前9：15～10：15

【パパとベビーのふれあいヨガ】16日☎午前11～11：30

講師：ヨガ講師 飛石めぐみさん※要予約

【はさみでちよきちよき】18日☎秋の製作①午前9～②午前10～③午前11～④午後2～(1時間ごとに7人程度)※要予約

【ママヨガ】19日☎午前11～11：30 講師：ヨガ講師 飛石めぐみさん※要予約

【お日さま広場】21日☎午前10～11：30 ミニ講座「マイナス思考が止まらない方へ(自分を幸せにしよう)」※個別相談ともに要予約

【楽しい食育講座】22日☎午前10～11：30 キャラクタークッキーを作ろう 講師：森口和美さん※要予約

【誕生会】25日☎午前11～11：30 対象：11月に誕生日やハーフバースデーを迎えるお子さんと保護者※要予約

【ミュージックケア】27日☎午前10：30～11：30

講師：音楽療法士 上坂千津子さん※要予約

*行事がない日の毎週月・困は、午前11時から保育士による手遊びや紙芝居・絵本の読み聞かせなどを行っています。詳しくは「あそびにおいでよ!」をご覧ください。予約はいりません

☆育児相談に専門職(保健師・管理栄養士・保育士など)が応じます

日時：毎週月～金午前9～午後4

場所：地域子育て支援センター(結とぴあ内)

相談方法：直接お話、電話、メール、Zoom

※相談には予約がおすすめです

予約方法：市公式LINEメニュー

から子育て相談を選択、

または電話で申し込む

予約は市公式LINEから▶



保育所・認定こども園 開放日(未就園児)

☆公立保育所開放(ほのぼの広場)※要予約

日時：5日(月)、19日(月)午前9:30~11
 場所：公立保育所(あかね・荒島・阪谷・和泉)

☆認定こども園開放(上段は見学日、下段は体験日です)※要予約

- いとよミライエこども園 毎週月(月)金(金)午前10~11
- いとよっこ広場 13日(月)午前10~11
- いなやまこども園 毎週(月)金(金)午前10~11
- なないろ広場 18日(月)午前10~11※好きな遊び、保育教諭による子育て相談
- いなほこども園 毎週月(月)金(金)午前10~11
- なないろ広場 今月はありません
- 大野幼稚園 毎週(月)金(金)午前9:30~11:30
- きらきらClub 5日(月)、7日(水)、12日(月)、14日(水)、19日(月)、21日(水)、26日(月)、28日(水)午前9:30~11:30
 ※親子ふれあい遊び、絵の具遊び、園児との交流遊び、絵本の読み聞かせ、保育心理士による子育て相談
- 開成こども園 毎週月(月)金(金)午前9:30~11
- にこにこ広場 6日(月)午前9:30~11※園児と一緒に遊びましょう
- 上庄こども園 毎週(月)金(金)午前9:30~11
- ころころ広場 7日(水)午前9:30~11※ボール遊びをしましょう
- 亀山こども園 毎週月(月)金(金)午前10~11
- かめさん広場 15日(金)午前10~11※絵本の読み聞かせ、子育て相談
- 篠座こども園 毎週月(月)金(金)午前10~11
- 子育て広場 7日(水)午前10~11※作品展鑑賞
- 誓念寺こども園 毎週月(月)金(金)午前9:30~11:30
- なかよし広場 14日(水)、26日(月)午前9:30~11:30
- 誓念寺中野こども園 毎週(月)金(金)午前9:30~11
- なかよし広場 未就園児専用の部屋を作りました。月~金の午前9~11まで毎日利用できます。予約はいりません



◎祝日・休日の場合を除く。詳しい内容は、各園に問い合わせてください

集まれおおのっ子 ひとり親家庭等学習支援事業

ひとり親家庭などの小中学生が参加できる学習会です。宿題で分からないところや、つまづいているところを習うことができます。

日時 2日(土)、9日(土)、16日(土)午前9:30~11:30※日程が変更になることもあります

場所 旧アドバンススクール(神明町1107番地)

その他 学習会に参加を希望する人は、こども支援課まで申請書を提出してください。申請書はホームページからダウンロードできるほか、こども支援課にもあります。郵送でも受け付けています

☎ こども支援課 (☎64・5533) 大野市母子寡婦福祉連合会 (☎090・9766・0372)



児童デイサービスセンター くれよん教室

児童デイサービスセンターでは、ことばや発達などが気掛かりな子どもの相談と療育を行っています。いつでも問い合わせてください。

♥子どものことばや育ちの相談(要申込)

日時：随時開催 午前9~午後5

♥子どものからだところ専門医による相談(要申込)

月1回：希望する人はご連絡ください

☎ 児童デイサービスセンター (結とびあ内 ☎65・8535)



▲詳しくはこちら



▲相談の申し込みはこちら

クラウドファンディングによる支援を募集 大野を元気にするプロジェクトに応援を

本市では市民などが実施する次の2事業を「ふるさと納税型のクラウドファンディング事業」として認定しました。各事業に対する寄付金を募集していますので支援にご協力を願います。

対象事業①

内容 「スターランドさかだに」の敷地内に星空を楽しめるオートキャンプ場を整備する

実行者 スターランドさかだに運営協議会

寄付目標額 75万円

受付期間 11月20日頃まで



対象事業②

内容 市内で捕獲したシカやイノシシを活用した大野産ジビエを地域の特産品にする

実行者 株式会社タジマカンパニー

寄付目標額 120万円

受付期間 11月20日頃まで



その他

・ふるさと納税のため、寄付額に応じて個人住民税などから控除が受けられます
・市民が寄付した場合、返礼品を受け取ることはできません
・事業の詳細や寄付方法などはホームページを確認してください

☎ 政策推進課

(64・4824)



▲詳しくはこちら

子育てママのための就職説明会

再就職を希望する子育て中の女性を対象とした合同就職説明会を開催します。

◆福井市会場

日時 12月13日(金) 午前の部…午前9時55分～正午 ▼ 午後の部…午後1時35分～3時40分

場所 県生活学習館(福井市下六条町14-1)

◆坂井市会場

日時 12月20日(金) 午後1時35分～3時40分

場所 丸岡総合福祉保健センター(坂井市丸岡町八ヶ郷21-7-1)

◇共通事項

対象 子育て中の女性(嶺北在住者)
内容 企業概要説明会と個別面談会
※託児サービスあり(無料、要予約)
定員 各部10人(抽選)
参加料 無料

申込方法 福井市しごと支援課ホームページ内の専用フォームから申し込み

申込締切 11月29日(金)

☎ 福井市しごと支援課

(0776・20・5321)



▲申込方法など詳しくはこちら

広告

広告募集中

(1ヵ月 1枠1万円 / 2枠2万円)

問い合わせ先

秘書広報室
(64・4825)

シリーズ「市制70年のあゆみ」



市庁舎落成祭(昭和37年撮影)

市庁舎の完成を祝って、三番通りで仮装パレードが行われました。大野優良店会が黒田節の曲に合わせて踊りながら行進しています。
(提供：匿名希望)



ふるさと大野



物語



オート三輪車(昭和30年撮影)

貨物自動車として使われた三輪トラックは「オート三輪車」と呼ばれました。安価で積載力があり小回りが利く特性から高度成長期に国内で活躍し、市内でも広く普及しました。
(提供：木瀬モーターサイクル商会)

大野の歴史・文化・伝統を記録した写真などを収集保存しています。家庭に古い写真などを持っている人は、ぜひ連絡してください。皆さんの協力をお願いします。

☎ 生涯学習・文化財保護課(学びの里「めいりん」内) ☎65・5590



みんなの図書館

図書館の新着図書一覧はこちら▶



一般図書

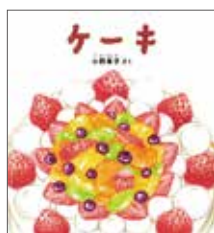


言葉の葉配色辞典

ingectar-e / 著
インプレス

情景、天文、感情、季節、自然、時間の6テーマの言葉を、配色で表現しています。選ばれた言葉はとても美しく、日本語の深さと素晴らしさを感じることができます。

児童図書



ケーキ

小西英子 / さく
福音館書店

卵と砂糖を混ぜてケーキを作ります。一つ一つの工程も丁寧に描かれ、お菓子作りの良い香りがしてきそうな絵本です。フルーツがたっぷりのったケーキが出来上がりました。紅茶と一緒に召し上がってください。



迷惑な終活

内館牧子 / 著
講談社

主人公は原英太75歳。生きているうちから、死後を考えておくことは、生きる意欲を失うから、終活は絶対にしないと考えていました。ところが、あるきっかけから、終活とは自分が人生でやり残したことをやることだと思い立ち、活動を始めます。どんな終活になるのでしょうか。



中国のフェアリー・テール

ローレンス・ハウスマン / 作
松岡享子 / 訳
福音館書店

絵を描きたいと強く願う、中国の貧しい少年が、思いも寄らない方法で、300年前に世を去った偉大な画家から教えを受け、優れた画家に成長するまでを描いた物語です。

さまざまな文化活動を体験する場に

オオノクリエイティブクラブ

オオノクリエイティブクラブは市民有志で運営する、小学4年生〜中学3年生を対象とした地域総合文化部です。現在は20人の小中学生が所属し、主に毎週木、土曜日に学びの里「めいりん」などでさまざまな文化活動に取り組んでいます。



みんなで作る、楽しい文化体験

クラブ設立のきっかけ

同クラブは令和5年4月に、前年から美術分野に限定して活動していたクラブを発展させる形で設立されました。代表の佐子公一さんは、「子どもたちがさまざまな文化活動に触れられる場をつくりたいと考え、立ち上げました」と語ります。

クラブ名には、文化芸術の創作活動に取り組むとともに、参加する子どもや講師を務める地域の大人と一緒に、クラブそのものを創造していきたいという思いが込められています。

活動内容

絵画、工作、三味線、琴、料理、ボードゲームなど、毎回変わる多彩な活動内容に、異なる学年や学校の子どもたちが互いに刺激を受けながらのびのびと取り組んでいます。

取材で訪れた日は、「イメージを描こう」をテーマに、抽象画の制作に取り組んでいました。子どもたちは目に見えない感情や五感をキャンバスに表現しようとして、思い思いに工夫を凝らしながら個性豊かな作品を完成させていました。

運営メンバーの若林朋美さんは「色の組み合わせや描く線形、

筆使いなど全てが十人十色。子どもたちが作品を作り上げ喜ぶ姿や回を重ねることに成長する姿を見ると、自分もうれしくなります」と話してくれました。制作された作品は、11月の市文化祭に出展される予定です。

今後の抱負

佐子さんは「昨年度は大野地区まちづくり推進協議会と協力し、ミニズコンポスト制作や亀山の看板制作などを行いました。本年度は、おの城まつり演奏チーム「音人」とともに、おの城まつりで三味線の演奏を披露しました」と活動を振り返り、「今後も文化活動の楽しさを知ってもらうとともに、地域とのつながりを深めてもらえたらうれしいです」と話します。

新規クラブ員も募集中で、他の習い事や学校の部活動との掛け持ちも大歓迎。文化活動に興味があれば気軽に参加してください」と話します。

子どもたちの豊かな感性を育む場を創造するオオノクリエイティブクラブの皆さん。今後のさらなる取り組みが楽しみです。

メンバー募集中
詳しくはこちら▼



広告



ー アートを通じて木の素晴らしさを感じてほしい ー



木と対峙する木工造形作家

小島 尚 さん 川合

小島さんは和泉地区を拠点に活動する木工造形作家です。11月24日まで開催中のCOCONOAアートプレイス企画展では、雑木や古材、間伐材を生かした、新たな視点のアート作品を展示しています。

普段はどんな活動をしていますか

主に、器や皿などの木工品を制作しています。数年前から、分野の幅を広げて、木を生かしたアート作品の制作にも挑戦しています。今回のようなアート作品を中心とした企画展は、私にとって初の試みとなります。

企画展で工夫した点を教えてください

木をより身近に感じてもらうよう、鑑賞するだけでなく、触れる作品も用意しました。経木(木を薄く削り紙状にしたもの)で作った葉っぱを、来場者に壁に貼ってもらい、みんなで大きな木を作り上げる、参加型の展示作品もあります。

また、木や自然がテーマの企画展なので、作品の材料はできるだけ自然由来のものを使っています。例えば、絵の具の代わりに薪ストープのすすや紅芋の粉末を使ったり、接着剤の代わりにコメをのり状に加工したものを使ったりしています。

企画展を通して伝えたいことは

多くの人に木の魅力を体感してもらい、大野の豊かな自然を再発見してほしいです。木や自然と

の関わりを日常生活の中でも見出し、もりえたりうれいですね。「アート」と聞くと、とっつきにくい印象を持たれるかも知れませんが、難しく考えず、気軽に企画展へ立ち寄ってほしいです。

展示の中には、木目や木の輪郭を別のものに見立てた作品がありますが、何に見えるかは人それぞれです。アートの楽しみ方に正解はないので、自由に感じて楽しんでもらえればと思います。

今後の目標を聞かせてください

今回は木を身近に感じてもらう作品が多かったですが、今後はより深遠なテーマの空間芸術にも挑戦してみたいです。

大野市には、かつての小コレクター運動のように、アートを軸に人と人がつながり合ってきた歴史があります。私も木工造形作家として、木とアート、都市と地方をつなぐ一端を担っていければと思います。



Instagramで
情報発信中
詳しくはこちら▶



広 告

「市民のページ」に参加しませんか？ 大野市で頑張っている人、グループを募集します。詳しくは秘書広報室まで ☎64・4825



こんなことがありました！ 話題のひろば



ご寄贈・ご寄付 ありがとうございます

【右】 9月24日、井上金庫販売株式会社(本社：福井市)から物品での企業版ふるさと納税としてソファなど51点(258万2700円相当)の家具が寄贈されました。寄贈された家具は図書館や来年1月オープン予定の屋内型こどもの遊び場に設置します。

【左】 9月25日、株式会社コモディイダ(本社：東京都)から企業版ふるさと納税として500万円の寄付が寄せられました。寄付金は観光情報発信事業に活用します。



9/17 阪谷の魅力感じて 児童がバスツアー企画

阪谷小学校児童が考案したバスツアーの魅力向上を目指し、同校児童が地区住民や観光事業者と意見交換会を行いました。このツアーは、観光バスツアー「はぴバス」のコースに採用されていましたが、最少催行人数に届かず、運行が実現しませんでした。

意見交換会では、「阪谷産野菜を使ったピザ作り」、「牧場での餌やり体験」などの新たなバスツアーの実現に向けたアイデアが児童らから提案されていました。



9/28 大野の巨木から 自然環境考える

「第35回巨木を語ろう全国フォーラム福井・大野大会」が結びあいで開催され、全国の愛好家や市民ら約200人が参加しました。本フォーラムは巨木の魅力発信や自然環境保全の普及啓発などを目的に毎年各地で開かれており、県内では初開催となりました。

森林の持続的な活用をテーマにした基調講演や市内の巨木保全の事例報告が行われ、参加者は大野の豊かな自然環境への理解を深めていました。

翌29日には市内の巨木を巡る現地視察が行われました。



9/20 再編校の土を生かし 生徒が土壁塗り施す

改修工事が進む陽明中学校で、生徒が伝統的な土壁塗りを体験するワークショップを行いました。

新たな学校に愛着を持ってもらおうと、土壁材には陽明中と旧尚徳中、旧和泉中の敷地の土が練り込まれました。生徒たちは施工業者の手ほどきを受けながら、生徒玄関に組まれた竹の下地に土壁材を塗り込み、こてで表面を整えていました。

10月10日には、旧上庄中と統合した開成中でも同様のワークショップを実施しました。



9/29 大野の音楽家が一堂に集結 多彩な音色で約380人を魅了

市制施行70周年記念「結の奏で いつまでも ともに～大野のアーティストによるコンサート～」を学びの里「めいりん」で開催しました。

県内外で活躍する本市出身や本市在住の音楽家8人と声楽を学ぶ高校生1人が出演しました。本市出身の作曲家・木下正道さんが編曲や作曲を手掛け、多彩な楽器の組み合わせによる12曲が奏でられました。

フィナーレを飾ったラヴェル作曲の「ボレロ」では、楽器の音色が次々に重なり合い迫力を増す演奏に、観客は引き込まれるように聞き入っていました。

アンコールでは「見上げてごらん夜空の星を」が披露され、伸びやかなソプラノの歌声が会場を沸かせ、大きな拍手が響いていました。



10/12 消防団第2分団が 全国7位入賞

宮城県で第30回全国消防操法大会が開催され、市消防団第2分団(下庄地区管轄)が県代表としてポンプ車操法の部に出場し、全24チーム中、7位入賞を果たしました。

分団長の齊藤長治さんは大会を振り返り「選手一人一人が全力を尽くし、訓練を支えてくれた分団員たちとの見事なチームワークで挑戦し続けた結果が、今回の上位入賞につながりました」と話してくれました。



10/3 世代を超えて 水と共に生きる

「水資源保全全国自治体連絡会シンポジウム in 越前おおの」が学びの里「めいりん」で開催され、県内外の会員や市民ら約120人が参加し、本市の水環境保全の重要性を再認識しました。

本シンポジウムは水資源や環境保全の取り組みなどの発信を目的に全国で隔年開催され、県内では初開催となりました。

事例報告では、有終南小学校児童が、イトヨが住める本願清水を守ろうと呼び掛け、イトヨの生態に関するクイズや自作の歌を披露していました。

特別展
金森長近公
のあゆみ
歴史博物館で開催中
12月1日 日 まで

金森長近公が大野を治める前から、今の春日一丁目や日吉町あたりには「町」があり、越前国(今の福井県北部)と美濃国(今の岐阜県南部)をつなぐ街道(美濃街道)が通っていました。

長近公は大野城下町を整備する時に、この街道が城下町の中心を通るように変えたようです。城下町は街道を行き交う人たちで賑わったようで、江戸時代には藩の御用商人も多くいました。

城を中心として町を整備し、街道によって経済効果を生み出す方法は、幼少期を過ごした近江金森(今の滋賀県守山市。広報おおの6月号で紹介)の影響が大きいと考えられます。

また、長近公は、鍛冶町のように職業ごとに職人を集めて住まわせる「職人町」をつくり、仕事をしやすくしました。

戦いに備えて町を整備することが一般的だった当時、長近公は町民が豊かに暮らせるように工夫をしたのでした。



大野町絵図(市歴史博物館蔵)

次号(12月号)では、大野を離れた後の長近公の様子を紹介します。

編集後記

10月中旬に矢ばなの里を訪れると、渡り鳥のように長距離を移動するチョウ「アサギマダラ」の姿を目にすることができました。

このチョウを呼び寄せようと、地域の皆さんが昨年から植え始めた藤袴の花が咲き誇り、今では多くのアサギマダラが羽を休める憩いの場所となっています。

今月号も、取材を通じてさまざまな特色ある地域活動と出会いました。熱意を持って活動に取り組まれる皆さんの姿に、いつも元気をもらっています。



市民のうごき

令和6年10月1日現在(前月比)

世帯数	1万1614世帯 (-36世帯)
人口	2万9946人 (-95人)
〈男〉	1万4306人 (-53人)
〈女〉	1万5640人 (-42人)

◆9月中の内訳

転入	41人	出生	4人
転出	85人	死亡	55人

十一月三日は柳廼社(通称柳神社)のお祭りである。幼少期は押すな押すな、の賑わいで、篝火で仄明るい参道を、前にいる大人の背中だけを見ながら、やつとのことて歩いた記憶は鮮烈である。参道が尽きる辺りには、白い服を着た傷痍軍人が地べたに坐って、喜捨を乞うていた。▼今も、あの雰囲気に惹かれて、大判焼きやお好み焼きを買いに行く。今風の食べ物も並んでいるのだけれど。この時期、境内は、銀杏黄葉、楓紅葉が青空に映えて、目に沁みるほど鮮やかである。お尻をピンと挙げた狛犬二体も健在である。▼お祭りには、露店が並ぶ常にならぬワクワク感と、明日には形もなく去ってしまう一抹の哀愁がある。紅葉の輝きを頂点に季節も衰えていくので、秋は、殊にその感が強い。柳神社のお祭りが終わると、季節に区切りがついて、冬に向かう心が出来る。▼紅葉から黄落へ、十一月は、華やぐ季節の終わりをいとおしむ、古人の繊細な美意識が窺える月でもある。▼上田敏の名訳詩集『海潮音』に収められた「嗟嘆(マラルメ)の余韻は、忘れ難い。「落葉の薄黄なる憂悶を風の散らせば、／いざよひの池水に、いと冷やき綾は乱れて／ながながし、梔子の光さす入日たゆたふ。」淡い黄と茶色がかかった黄が交錯する光は、晩秋の色である。(九里順子)



十一月三日は柳廼社(通称柳神社)のお祭りである。幼少期は押すな押すな、の賑わいで、篝火で仄明るい参道を、前にいる大人の背中だけを見ながら、やつとのことて歩いた記憶は鮮烈である。参道が尽きる辺りには、白い服を着た傷痍軍人が地べたに坐って、喜捨を乞うていた。▼今も、あの雰囲気に惹かれて、大判焼きやお好み焼きを買いに行く。今風の食べ物も並んでいるのだけれど。この時期、境内は、銀杏黄葉、楓紅葉が青空に映えて、目に沁みるほど鮮やかである。お尻をピンと挙げた狛犬二体も健在である。▼お祭りには、露店が並ぶ常にならぬワクワク感と、明日には形もなく去ってしまう一抹の哀愁がある。紅葉の輝きを頂点に季節も衰えていくので、秋は、殊にその感が強い。柳神社のお祭りが終わると、季節に区切りがついて、冬に向かう心が出来る。▼紅葉から黄落へ、十一月は、華やぐ季節の終わりをいとおしむ、古人の繊細な美意識が窺える月でもある。▼上田敏の名訳詩集『海潮音』に収められた「嗟嘆(マラルメ)の余韻は、忘れ難い。「落葉の薄黄なる憂悶を風の散らせば、／いざよひの池水に、いと冷やき綾は乱れて／ながながし、梔子の光さす入日たゆたふ。」淡い黄と茶色がかかった黄が交錯する光は、晩秋の色である。(九里順子)